

笑顔

☆まあるいじかん☆

篠山東中学校 3年1組学級通信

第 78 号

2019(平成31)年2月18日発行

発行者 松田 淳二

第3ステージ

私立入試（第1ステージ）、公立推薦入試（第2ステージ）が終わりました。それぞれが緊張する中、42人で励ましあい、応援しあいながら無事に終えることができました。そして、今週は、学年末テスト（第3ステージ）になります。もう取り組みをしている人が多いと思いますが、中学校生活最後のテストに集中して取り組み、成果を出してほしいと思います。学年末テストはどの教科もテスト範囲が広く、丁寧に時間をかけないとその範囲を十分に振り返り、やったことを身につけることができないと思います。残りの時間は少ないですが、今できることを42人でやりきってテストに挑もう。みんなならできる。

さて、今、私は、田尻賢誓さんの書かれた「高校野球 強豪校に勝つための 弱者の戦法」という本を読んでいます。2017年12月に田尻さんの講演を聞いて、本を購入し、サインもしてもらった本です。「JK」の話をしてくださった方です。去年度の「やってみよう」で紹介した人です。そのサインには名前のほかに「あきらめない限り、夢は続く」と書かれています。否定語が入っているのが少し残念なのですが、自分なりに言い換えて「思い続ける限り、夢は続く」などと訳しながらみています。そこに書かれている内容は私が近年大事にしてきたことが分かりやすく書かれてあり、その言葉を今回はみんなに紹介しようと思います。

○結果が出てもこれでいいと思った時点で終わり。その時点で成長は止まってしまう。

○何かを感じさせるチームは

徹底している（100回中100回同じことができる）。

例えば、あいさつを挨拶してから笑顔をみせる。服装を整える。整理整頓している。

全員が同じ方向を向き、同じものを目指している。

○すぐにできることはすぐにやる。

○準備力こそすべてである。

試合で考えられることはすべてシミュレーションをし、準備をしておく。

細かいところまでとことん準備をしているから本番では普段と同じようにできる。

○目配り、気配りは、常に確認する習慣で育つ。

誰かがするのではなく自分がやる（確認する）。